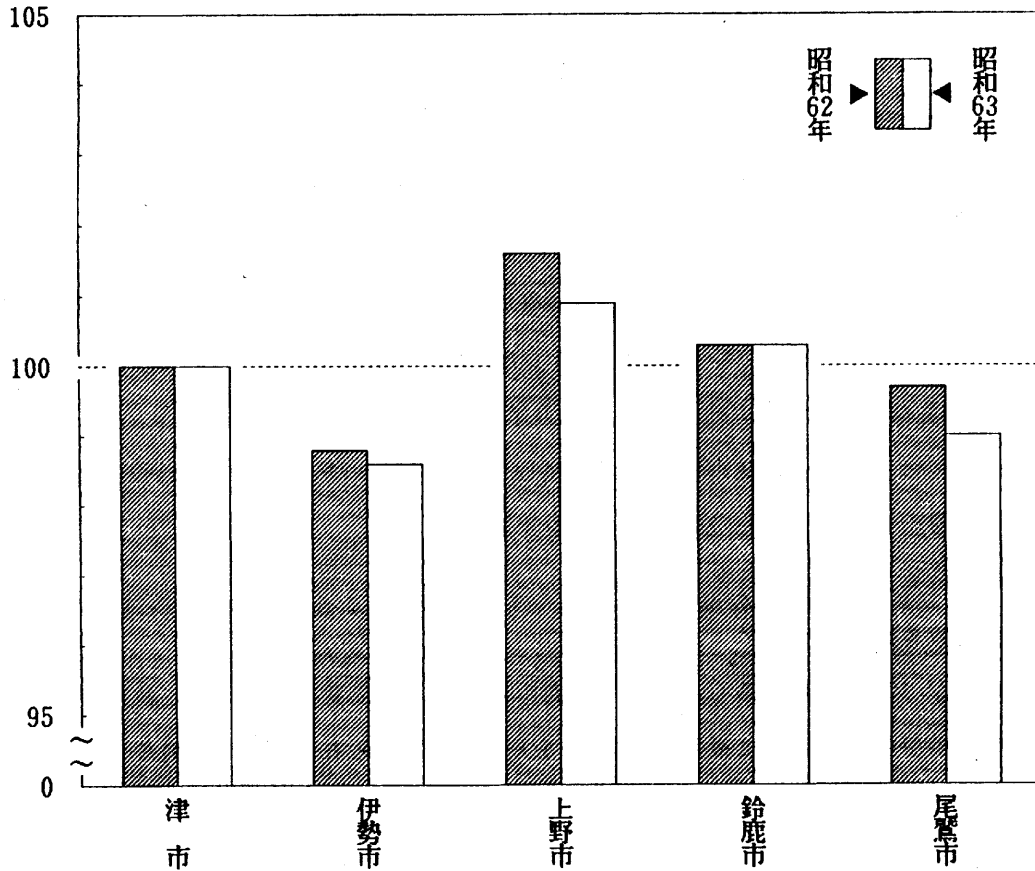


# 三重県消費者物価地域差指数

図1 三重県消費者物価地域差指数（昭和63年平均）  
津市=100



## I 三重県消費者物価地域差指数の概要

三重県においては、昭和26年から三重県消費者物価指数を作成しているが、そのままでは地域間の物価水準を比較することができないので、都市相互間の物価差をはかる目的で三重県消費者物価地域差指数を作成している。この指数は、津市の消費生活を基準として比較都市の物価で営んだ場合に、その生活費用は基準都市（津市）に対してどれほどの地域差があるかをみたものである。

### 1 価格資料

消費者物価指数と同じ5市における小売物価統計調査によって調査された小売価格である。

なお、5市共通の銘柄に統一できない品目は、指数計算から除外した。

### 2 ウェイト

指数計算に用いるウェイトは、作成年における津市の家計調査の品目別支出金額である。

### 3 平均価格

都市別価格は、上記価格資料を用いて生鮮食品以外については、1月から12月の単純算術平均により、生鮮食品については各市の月別ウェイトによる加重算術平均により求めている。

#### 4 算式

津市のウェイトによる加重算術平均式を用いた。すなわち、各品目の比較地域価格  $P_h$ 、基準都市（津市）価格  $P_o$ 、基準地域ウェイト  $W_o$  とすれば算式は次のように表される。

$$I_h = \frac{\sum \frac{P_h}{P_o} W_o}{\sum W_o}$$

#### 5 調査都市

津市、伊勢市、上野市、鈴鹿市、尾鷲市の5市である。

### II 昭和63年三重県消費者物価地域差指数の結果のあらまし

#### 1 総合地域差指数（持家の掃属家賃を除く）

調査した5市の地域差指数について、基準都市津市を100とした総合地域差指数をみると、上野市の100.9が最も高く、次いで鈴鹿市の100.3、津市の100.0、尾鷲市の99.0、伊勢市の98.6となっている。

なお、最高の上野市と最低の伊勢市との差は2.3ポイントで、62年平均の最高の上野市の101.6と最低の伊勢市の98.8との差2.8ポイントを下回っている。

#### 2 10大費目地域差指数について

##### (1) 食料地域差指数について

上野市が103.1で最も高く、次いで鈴鹿市が101.7、尾鷲市が100.9、津市が100.0となっており、最低の伊勢市が96.5で最高との差は6.6ポイントである。なお、食料のうち格差の大きい費目は、調理食品の31.8ポイント、次いで生鮮野菜の31.6ポイント、肉類の26.7ポイントとなっている。

##### (2) 住居地域差指数について

伊勢市が106.6で最も高く、次いで鈴鹿市が105.4、上野市が100.4、津市が100.0となっており、最低の尾鷲市が95.7で、最高との差は10.9ポイントである。

##### (3) 光熱・水道地域差指数について

上野市が106.8で最も高く、次いで尾鷲市が104.1、伊勢市が102.9、鈴鹿市が101.5となっており、最低の津市が100.0で最高との差は6.8ポイントである。

##### (4) 家具・家事用品地域差指数について

上野市が102.2で最も高く、次いで津市が100.0、鈴鹿市と尾鷲市が99.9となっており、最低の伊勢市が97.3で最高との差は4.9ポイントである。

##### (5) 被服及び履物地域差指数について

津市が100.0で最も高く、次いで鈴鹿市が95.4、伊勢市が85.0、上野市が84.2となっており、最低の尾鷲市が83.0で最高との差は17.0ポイントである。

##### (6) 保健・医療地域差指数について

上野市が102.6で最も高く、次いで津市が100.0、鈴鹿市が99.4、尾鷲市が97.6となっており、最低の伊勢市が96.9で最高との差は5.7ポイントである。

(7) 交通・通信地域差指数について

津市が 100.0 で最も高く、次いで上野市が 99.6、伊勢市が 99.5、鈴鹿市が 98.8 となっており、最低の尾鷲市が 98.6 で最高との差は 1.4 ポイントである。

(8) 教育地域差指数について

上野市が 116.0 で最も高く、次いで尾鷲市が 111.1、伊勢市が 108.4、鈴鹿市が 100.9 となっており、最低の津市が 100.0 で最高との差は 16.0 ポイントである。

(9) 教養娯楽地域差指数について

尾鷲市が 100.6 で最も高く、次いで津市が 100.0、伊勢市が 98.6、上野市が 97.4 となっており、最低の鈴鹿市が 96.5 で最高との差は 4.1 ポイントである。

(10) 諸雑費地域差指数について

伊勢市、上野市が 101.7 で最も高く、次いで尾鷲市が 100.7、津市が 100.0 となっており、最低の鈴鹿市が 98.3 で最高との差は 3.4 ポイントである。

○ 生鮮食品を除く総合地域差指数では、最高が上野市の 101.5、最低が尾鷲市の 99.2 で、両市の差は 2.3 ポイントである。

○ 全国及び東京都区部と 5 市の比較

総務庁統計局の発表による県庁所在都市の消費者物価地域差指数（全国平均及び東京都区部を基準としたもの）と県調査の結果をもとに全国及び東京都区部と 5 市を比較してみると、次のとおりである。

(1) 全国平均を基準（100）としたもの

区 分	全国平均	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	99.8	98.4	100.7	100.1	98.8
食 料	100.0	103.1	99.5	106.3	104.9	104.0
家賃を除く総合	100.0	100.4	99.0	101.3	100.7	99.4

（注）一枠内が総務庁統計局の発表による地域差指数

全国平均の地域差指数を 100 とし、県調査の結果を置き換えてみると、総合地域指数では上野市 100.7、鈴鹿市 100.1 と全国を上回っているが、他の 3 市はいずれも全国を下回っている。

(2) 東京都区部を基準（100）としたもの

区 分	東京都区部	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	89.8	88.5	90.6	90.1	88.9
食 料	100.0	96.2	92.8	99.2	97.8	97.1
家賃を除く総合	100.0	93.0	91.7	93.8	93.3	92.1

（注）一枠内が総務庁統計局の発表による地域差指数

東京都区部の地域差指数を 100 とし、県調査の結果を置き換えてみると、総合地域指数及び食料地域指数とも 5 市全市が東京都区部を下回っている。